令和９年度長期高度人材育成コース　　鳥取県立産業人材育成センター米子校　受講生募集要項

※この訓練は、２月県議会の予算成立に基づき実施が決定します。



ITエンジニア養成科

（情報システムコース）

訓練期間
2年間

募集期間：令和８年１１月２５日（水）～令和９年２月２６日（金）

訓練目標　ITに関する専門的な知識･技術を学び、関連する資格を取得し即戦力として活躍できる技術者を目指します。

訓練期間	**令和9年4月10日(土)～令和11年3月3日(土) 2年間**	
訓練時間	基本は９時35分～15時45分　※学校行事の際は例外 ･訓練日程については、日本海情報ビジネス専門学校に準じます ･土日もしくは祝日に、授業が開講されることもあります	
訓練施設	**日本海情報ビジネス専門学校** 米子市道笑町2－227　電話(0859)22－2111	
応募対象者	**※以下のすべてを満たす方** ①概ね55歳未満の方 ②学校教育法による高等学校もしくは中等教育学校(中高一貫校)を卒業した方 ③非正規雇用労働など、不安定就労の期間が長いことや、安定就労の経験が少ないことにより能力開発機会が乏しかった方又は出産･育児等により長期間離職していた方等。 ④公共職業安定所長に求職の申込を行い、公共職業安定所長の受講指示、受講推薦または支援指示が得られる方 ⑤国家資格等高い知識及び技能を習得し正社員就職を希望する方 ⑥当該訓練コースを修了し対象資格等を取得する明確な意思を有する方 ⑦公共職業安定所においてジョブ･カードを活用したキャリアコンサルティングを受けた結果、当該訓練の受講が必要と認められる方 ※学卒未就学者であって、受講申し込み時点で学校卒業後1年以上経過していない方は対象外(新規学卒未就職者も対象外) ⑧過去に1年以上の公共職業訓練(委託訓練)を受講したことのない方	
募集人員	**5名**	
自己負担額	受講料	**無料**
	テキスト代	○1年次　39,000円 程度　　○2年次　46,000円 程度 ※2026 年度実績 ※テキスト変更等により、金額の変更の可能性があります ※2年次のテキストは進級時に購入していただきます
	駐車場	駐車場はありません。希望の方には斡旋します。【1か月:5,000円～5,500円(税込)程度】
	その他	･補助教材費、学校行事費、健康診断費、学生傷害保険料などの諸経費として、年間45,000円～60,000円程度が発生します。(※2026 年度実績) ･授業で使用するためノートPCを購入していただきます。自費購入が難しい場合は、ご相談ください。 ･検定試験受験料は実費でご負担いただきます。 ※詳しくは訓練施設へお問合わせください
雇用保険等	○雇用保険受給資格者で一定の条件を満たしている方は、雇用保険等が給付延長(2年間)される場合があります。 【管轄の公共職業訓練安定所でお尋ねください】 ○鳥取県内在住で支給要件に該当される方に、訓練受講期間中は保育料等の半額(※上限額有り)を助成します。【予定】 ○日本海情報ビジネス専門学校の学生として、JR、バス等の交通機関を利用して通学する方には、通学定期及び学生割引が適用されます。 ○母子家庭の母又は父子家庭の父で、支給要件に該当される方は、高等職業訓練促進給付金が支給される場合があります。 【県、各市及び福祉事務所設置町村でお尋ねください】	

ＩＴの専門的な知識とスキルをしっかり習得。
ＡＩを活用した開発ができるＩＴエンジニアを育成。

社会の様々な環境において、AI（人工知能）の活用や自動化、DX（デジタルトランスフォーメーション）化の必要性が高まっており、IT に関する広い知識とスキルを持つ人材が求められています。

情報システムコースは長年の実績の中で培われたノウハウと学びやすいカリキュラムで、社会や企業に求められる「スペシャリスト」になるためにしっかり学ぶことが出来ます。



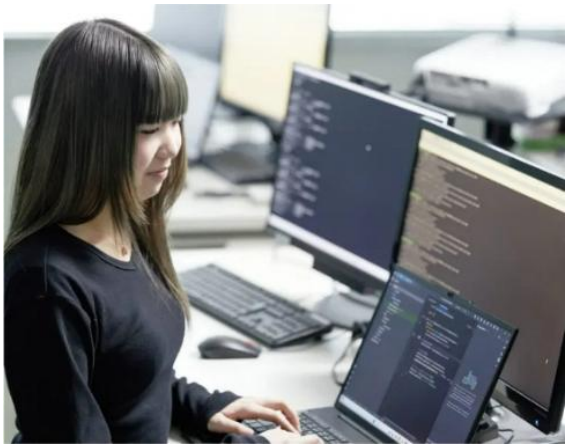
Ｊａｖａ言語によるプログラミングを通してＩＴスキルを伸ばす。
ＡＩの時代だからこそ、コードを“読める”力を

Curriculum 01
Java プログラミング・AI 開発基礎

Java を中心にプログラミングを学習。プログラミングの基礎を習得後、AI を活用したプログラミング、システム開発演習を行います。

Curriculum 02
ＩｏＴ活用基礎・実習

Raspberry Pi・Linux を中心とした IoT システム構築実習や AI 開発実習など、最新のテクノロジーを使用した学習に取り組み、より高度な IT スキルを習得します。



◎この訓練科は国の政策のもと、産業人材育成センター米子校と日本海情報ビジネス専門学校が共同で行う特別なプログラムです。産業人材育成センター米子校の訓練生であると同時に、日本海情報ビジネス専門学校の学生として位置づけられます。
◎日本海情報ビジネス専門学校「情報システムコース」への入学となります。

訓練受講に関して詳しくは、住居所を管轄する公共職業安定所へお問合せください。

米子公共職業安定所	(0859)33－3911	米子公共職業安定所根雨出張所	(0859)72－0065
倉吉公共職業安定所	(0858)23－8609	松江公共職業安定所安来出張所	(0854)22－2545
鳥取公共職業安定所	(0857)23－2021		

鳥取県立産業人材育成センター米子校	**米子市夜見町3001－8　　電話:(0859)24-0372** **E-mail:sangyoujinzai-yonago@pref.tottori.lg.jp** **https://www.pref.tottori.lg.jp/sanjinsenyonago/**
日本海情報ビジネス専門学校	**(代表)住所:米子市道笑町2－227** **電話:(0859)22－2111**

ＩＴエンジニア養成科（情報システムコース）訓練カリキュラム

区分			科目名	総訓練時間	1年次	2年次	教科の細目
必修科目	情報系科目	学科	情報処理Ⅰ	140	140		基本情報技術者試験科目A対策（テクノロジ）
			情報処理Ⅱ	160	160		基礎情報科目A対策（ビジネス、セキュリティ・倫理）アルゴリズム、疑似言語
			情報処理Ⅲ	70	70		基礎情報技術者本試験対策演習、上位検定対策
			情報処理Ⅳ	100		100	情報処理試験対策（国家試験、他）
		実技	Javaプログラミング	90	90		Java、プログラミング文法、演習
			Linux基礎	25	25		Linux基礎知識、演習
			AI開発基礎	60	60		AIを使用したプログラミング基礎知識、演習
			ICT基礎	25	25		PC基本操作・知識、Officeアプリ利用基礎・演習
			ICT活用演習	170		170	サーバ基礎知識、Webサイト構築、DB操作
			システム開発基礎	60		60	システム開発手順、関連知識、DB（SQL）基礎知識、演習
			システム開発演習	90		90	Webアプリ開発演習
			アプリ開発実習	220		220	各種アプリ手法、開発演習
			ホームページ基礎	50	50		HTML、CSS基礎知識、ホームページ制作演習
			ホームページ応用	45	45		Javascriptを使用したサイト制作演習
			課題研究	35	35		卒業研究、探究的学習
	情報系科目合計			1340	700	640	
	基礎教養科目	学科	就職ゼミ	30	30		就職活動に必要な知識、就職活動準備
			数理基礎	25	25		SPI対策演習
			基礎教養Ⅰ	30	30		国語、数学、社会、理科などの基礎学習演習
			総合学習Ⅰ	60	60		今後の社会対応のための探求的思考力、横断的・総合的な学習
			ペン字	30	30		硬筆、ペン字
			英会話	30	30		基礎文法、オーラルコミュニケーション
			LHR Ⅰ	50	50		学校行事、各種講演会、その他活動等
			ビジネスマナー	15		15	ビジネスマナー学習、検定対策
			基礎教養Ⅱ	30		30	国語、数学、社会、理科などの基礎学習演習
			総合学習Ⅱ	60		60	今後の社会対応のための探求的思考力、横断的・総合的な学習
			LHR Ⅱ	40		40	学校行事、各種講演会、その他活動等
	基礎教養科目合計			400	255	145	
合計訓練時間				1740	955	785	

選考日程

選考日時：令和９年３月１２日（金）
選考場所：日本海情報ビジネス専門学校
選考方法：筆記試験（SPI）・面接試験
　　（面接試験は、日本海情報ビジネス専門学校と産業人材育成センター米子校で個別に実施します）
合格発表：令和９年３月１９日（金）付で日本海情報ビジネス専門学校と産業人材育成センター米子校から、
　　それぞれ本人宛に文書で郵送します。
　　※ただし、職業訓練の対象となる方は産業人材育成センター米子校の合格者のみです。
入 校 日：令和９年４月１０日（土）…日本海情報ビジネス専門学校　入学式
　　※産業人材育成センター米子校の入校式と日本海情報ビジネス専門学校の入学式は別で実施します。

応募方法

① 最寄りの公共職業安定所にご相談の上、**産業人材育成センター米子校の入校願書（写真貼付）を提出・受付処理後、２月２６日（金）１７時１５分必着**で**産業人材育成センター米子校**へ提出して下さい。
※入校選考手数料は必要ありません
※持参の場合…受付時間：９時から１７時１５分までです。（土日・祝日を除く）
※郵送の場合…簡易書留で郵送してください。

●願書を提出後、スマートフォンまたはパソコンから事前アンケートに回答してください。

【回答期限】令和９年２月２６日（金）まで

スマートフォンの方
（二次元コードからアクセス）

パソコンの方
① 検索サイトで「とっとり電子申請サービス　検索」
② 検索ｷｰﾜｰﾄﾞに「ＩＴエンジニア養成科（情報システムコース）」を入力し、「絞り込みで検索する」

② **日本海情報ビジネス専門学校出願書類一式は、各自が必要書類等を準備し、２月２６日（金）１８時　必着**で**日本海情報ビジネス専門学校**に提出してください。
※選考料は必要ありません
※**入学志願書（写真２枚貼付）**には、余白部分に「長期高度人材育成コース」と追記してください。
※持参の場合…受付時間：９時から１８時までです。（土日・祝日を除く）
※郵送の場合…専用封筒に入れ、速達書留扱いにて郵送してください。

★①②の両方の書類をご提出ください。①②の書類は公共職業安定所にあります。

取得が目指せる資格

分野	検定名称	受験料	
情報処理系	情報処理技術者試験	応用情報技術者	各¥7,500
		基本情報技術者	
		情報セキュリティマネジメント試験	
		IT パスポート試験	
	情報検定（J 検）情報システム試験	基本スキル	¥3,500
		プログラミングスキル	¥3,000
		システムデザインスキル	¥3,500
	プログラミング能力検定（プロ検）	レベル１～６	¥7,700
	サーティファイ Web クリエイター	エキスパート	¥7,700
		スタンダード	¥6,100
ビジネス系	ビジネス能力検定	２級	¥4,200
		３級	¥3,000

◎IT エンジニア養成科の訓練生は、休学や留年は認められません。このため、留年が決定した場合は退校となります。
また、基本情報技術者試験に合格しない場合も退校となります。